

指定管理者による公の施設の管理運営状況

令和2（2020）年度

施設名	栃木県みかも山公園
施設所管課	県土整備部都市整備課
指定管理者	みかも山公園指定管理グループ ・公益財団法人栃木県民公園福祉協会（法人番号 9060005007605） ・栃木県公園事業協同組合（法人番号 5060005007682）
指定期間	平成31（2019）年4月1日～令和6（2024）年3月31日

1 施設の概要

施設所在地	栃木市岩舟町下津原1747-1
施設の概要	① 指定管理者による管理面積 165.9ha ② 主要な施設 ハング・パラグライダー場、フラワートレイン、わんぱく広場、冒険砦、富士見台、みかもハーブ園、万葉庭園、三毳庭園、湿生植物園、カタクリの園、アズマイチゲの園、香楽亭、緑の相談所 等
業務内容	① 公園の維持管理に関する業務 ② 有料公園施設の利用の許可に関する業務 ③ 公園の運営に関する業務

2 収支の状況

令和2（2020）年度

(千円)

収入			支出		
指定管理※2	指定管理料	123,100	指定管理※2	事業費	7,900
	利用料金収入	18,613		管理運営費	66,215
	その他収入※1	8,324		人件費	48,230
				その他支出※1	9,599
	合計	150,037		合計	131,944
指定管理業務収支差額①		18,093			
自主事業		18,644	自主事業	13,978	
自主事業収支差額②		4,666			
収支差額（①+②）		22,759			
備考（※1 その他収入の主なものを記載） ・負担金 161千円 ・利息 1千円 ・雑収入 8,162千円			備考（※1 その他支出の主なものを記載） ・租税公課費 9,599千円		

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

令和元（2019）年度（前年度）

(千円)

収入			支出		
指定管理※2	指定管理料	122,000	指定管理※2	事業費	8,678
	利用料金収入	20,124		管理運営費	82,475
	その他収入※1	826		人件費	49,340
				その他支出※1	8,418
	合計	142,950		合計	148,911
指定管理業務収支差額①		▲5,961			
自主事業		18,525	自主事業	17,659	
自主事業収支差額②		866			
収支差額（①+②）		▲5,095			

備考（※1 その他収入の主なものを記載） ・負担金 8 2 5 千円 ・利息 1 千円	備考（※1 その他支出の主なものを記載） ・租税公課費 8, 4 1 8 千円
---	--

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

3 利用状況

	令和元（2019）年度 （前年度）	令和2（2020）年度
公園利用者	7 8 4, 1 5 1 人	8 9 2, 8 8 8 人

施設名（利用料金施設）	令和元（2019）年度 （前年度）	令和2（2020）年度
ハング・パラグライダー	1 9 人	1 6 人
モノラック	7 3 人	1 6 6 人
フラワートレイン	4 7, 9 6 3 人	4 3, 4 2 1 人
合計	4 8, 0 5 5 人	4 3, 6 0 3 人

施設名		令和元（2019）年度 （前年度）	令和2（2020）年度
緑の相談所	相談件数	4 0 回	3 4 回
	催し物回数 （延べ人数）	3 6 回 (2 1, 5 6 1 人)	2 9 回 (1 9, 1 4 4 人)
	講習会回数 （延べ人数）	3 2 回 (4 2 1 人)	2 0 回 (2 5 6 人)
香楽亭	講習会回数 （延べ人数）	3 5 回 (8 4 4 人)	1 2 回 (2 6 9 人)

4 サービス向上に向けた取組

- (1) 基本テーマに基づいた管理運営
- ・動植物の貴重な生息環境を保護・保全するため定期的なモニタリングを実施し、確認できた野鳥や草花等は緑の相談所で紹介したほか、看板を設置し紹介した。
 - ・遊具等の安全管理要領に基づき、日常点検や定期点検を行い、修繕を適時実施した。
 - ・三轟庭園・万葉庭園に植樹された樹木の種類に応じて、樹形を整える剪定や手入れを行い、庭園景観の維持に取り組んだ。
 - ・緑の相談所では、公園の四季折々の自然に親しんでいただけるよう、「植物紹介観察会」や「きのご探検」「自然観察ハイキング」などを開催した。
 - ・香楽亭では、「ハーブの寄せ植え」や「美骨盤エクササイズ」等屋外講座のほか、「ボタニカルアート展」など、コロナ禍でも密を回避して行える体験講座や展示会を開催した。
 - ・三轟山が万葉集で詠われていることから、三轟山を題材にした短歌を募集し、優れた作品の表彰と応募作品の展示会・短歌講座を開催した。
 - ・コロナ禍で屋外活動のニーズが高いことから、山野草の群生地や眺望スポットなどを巡るハイキングマップを東京近郊のアウトドアショップへ配布し紹介した。
- (2) 利用者満足度を高める管理運営
- ・「万葉庭園秋のお茶会」「パラグライダー体験」などを企画し、「とちぎグリーンフェスタ2020」を開催した。
 - ・香楽亭では横浜薬科大学教授に協力いただき、薬草園を活用した「ストレスと漢方」講座を開催した。また、教授より薬草苗の提供をいただき品種の充実を図った。
 - ・フラワートレインでは、運転手による車内アナウンスで花の見られる場所や公園イベントなど

の情報を提供した。

- ・「いちごトレイン」「鯉のぼりトレイン」「ハロウィントレイン」等のイベント装飾トレインを運行した。
- ・フラワートレインの平日料金値下げ等、団体にも利用しやすいよう料金改定を行った。
- ・フラワートレインにおいて障害者利用は無料とした。
- ・みかも山公園の魅力が堪能できるように、四季折々の「観察会」や「写真撮影会」を開催した。
- ・豊かな自然や歴史を楽しみながら健康づくりができるように、ウォーキングコースを設定、「とちぎ健康づくりロード」に登録し健康づくりに活用した。
- ・SNSを使用し、最新の情報が掲載されるよう花情報やイベント情報の発信を行った。ホームページで講座の申し込みができるようにした。
- ・東口広場に親子で楽しめるバッテリーカー広場を設置した。
- ・フラワートレインを利用すると香楽亭での買い物が割安になる「トレイン割」サービスを実施した。
- ・東池にコイのエサ販売機を設置し、小さな子供も生き物と触れ合える場を提供した。

(3) 自然環境を保護・保全する管理運営

- ・自生するカタクリ・ニリンソウ・アズマイチゲ・キツネノカミソリなど山野草の生育環境を保全するため、区域ごとに管理方針を設定し取り組んだ。
- ・環境保全の大切さを伝えるため、「自然観察会」「野鳥写真展」「栃木の昆虫と小さな生き物写真展」などを開催した。
- ・特定外来生物クビアカツヤカミキリの防除に際し、迅速な情報共有を行い、栃木県と共に対策を実施した。
- ・ラベンダーの無料配布や木の実やきのこを観察する講座を開催し、自然の恵みを感じられる機会を提供した。

(4) 地域活動拠点として地域とともに生きる公園づくり

- ・みかも山公園・とちぎ花センター・いわふねフルーツパークと連携し各施設で他施設のイベント案内を実施した。
- ・愛パークとちぎ事業・私たちの花壇事業を推進し、地域住民・企業等が継続的に、環境美化に取り組めるよう支援した。
- ・ハーブ園では、草むしりや花植えを行うボランティアを募集し、共に管理に取り組んだ。
- ・地元、佐野茶華道協会との協働により、万葉庭園でお茶会を開催した。
- ・「三疊山大文字焼」「万葉柚子収穫祭」などの地域イベントは新型コロナウイルス感染防止の為に中止となったが、今後も会場整備やイベントを共催し運営協力を行う。
- ・栃木県緑の相談所友の会県南支部と共に、展示会や緑の即売会、花壇植栽等を開催した。

(5) 効率的・安定性のある管理運営

- ・管理グループの各構成団体の得意分野を活かして、施設管理・緑地管理等の多岐に渡る業務を適切に役割分担することで、効率化と安定化を図っている。
- ・ご意見箱、電話、メール、直接対応等により利用者の意見を受付けた。
- ・苦情内容を全従業員に周知徹底させ、研修を実施し原因究明と再発防止に向けて取り組んだ。
- ・公園管理運営士など公園管理運営技術に関する有資格者を配置した。
- ・災害発生時のマニュアルを作成、訓練を実施し来園者の避難誘導等安全確保に努めた。
- ・園内放送や巡回により、安全確保と防犯に取り組んだ。
- ・一括契約、一括購入により経費削減を図った。
- ・スタッフを対象に作業機械の取り扱い講習、現場でのKY活動研修、普通救命講習、スキルアップ研修等を行った。

(6) 施設利用提供の実施計画

- ・休園日を設けず年間を通して開園した。併せて管理事務所も開所した。
- ・春休み期間には施設の休業日を設けず、緑の相談所・フラワートレイン・香楽亭の臨時営業を行った。
- ・フラワートレインは春休みの繁忙期等、計画的に平日増便で運行し利用者の利便性向上を図った。

・近隣市町、観光施設等と連携した観光情報や花、緑に関するイベント情報を発信した。

5 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法				
<ul style="list-style-type: none"> 管理事務所に意見箱を常時設置し、ご意見票を回収 				
回収件数 51件				
主なご意見票の項目	良い	良い方	あまり良くない	悪い
公園内はきれいでしたか	59.6%	36.2%	2.1%	2.1%
公園の管理状況はいかがでしたか	44.5%	51.1%	4.4%	0.0%
花壇や樹木などの植物の管理状態はいかがでしたか	60.9%	36.9%	2.2%	0.0%
スタッフの対応はいかがでしたか	63.1%	31.6%	5.3%	0.0%
<ul style="list-style-type: none"> ホームページで意見を受付 イベントや緑の相談所の講座の参加者へアンケート調査を実施 みかも山公園連絡協議会を開催し、意見・要望を聞き取り 				
主な利用者意見（苦情・要望）	対応			
<ul style="list-style-type: none"> ・受動喫煙で嫌な思いをした。喫煙所は休憩所と別にしてほしい。 ・階段に落ち葉が多く滑りやすかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定喫煙所を移動し、注意書きを貼り付け済。 ・園内を再点検し、危機回避に努める。 			
主な利用者意見（積極的評価）				
<ul style="list-style-type: none"> ・自然を感じました。とても居心地が良く、気分がリフレッシュされた。 ・景色が素晴らしかった。 ・コロナ禍でも散歩が出来るので良い運動ができ、素晴らしいところ。 				

6 指定管理者による自己評価

成果のあった取組・積極的に取り組んだ事項・利用者満足度向上への取組
<ul style="list-style-type: none"> ・SNSやホームページに、カタクリなど花の開花情報や新型コロナウイルス対策情報等を適時掲載し、利用しやすい情報を提供した。 ・コンソーシアムを組んで公園を管理していることで、枯損木処理や施設修繕、突発的に発生した倒木などの事案に対して、迅速安全に対応することができた。 ・危険木の早期発見に努め、380本の危険木を処理することができた。 ・香楽亭と体験講座のチラシを作成し、県内外の公民館等へ送付し誘客に取り組んだ。 ・香楽亭の体験講座参加者アンケートでのご意見を参考に、次回の講座開催に向けて講師と改善の打合せを行い、内容の充実に取り組んだ。 ・ハーブフェスタ開催時に佐野プレミアムアウトレット・あしかがフラワーパーク利用者に対しチラシを配布した他、ソフトクリームの割引販売を行い新たな誘客に取り組んだ。 ・フラワートレイン料金改定や見どころポイントを記載した遠足プランを幼稚園や小学校に送付し、誘客に取り組んだ。 ・施設や遊具の点検で確認された不具合の修繕に努め、事業計画以上の修繕を実施した。 ・フラワートレインは致命的な故障を防ぐために、点検指摘事項の早期改善と計画修繕を行った。その結果、長寿命化を図りながら安全に運行することができた。 ・三毳庭園・万葉庭園・ハーブ園の景観維持と魅力向上を目標に、事業計画よりも多く除草や樹木剪定を実施した。

<ul style="list-style-type: none"> 山の魅力である高所からの眺めを回復するため、展望場所の枝下ろし等を実施し、魅力アップを行った。 ハーブ園におけるボランティアの育成、愛パークの組織化を行い良好な管理が行えた。 来園（登山）の思い出やお土産として、「三叢山の山バッジ」を製作・販売し好評を得ている。 低山の特性を生かし「ビギナー向け登山教室」を開催、新たな公園利用の契機となった。今後も山の魅力を上げるため、自然を活かした「トレイルラン」や「ロゲイニング」を開催する。 ハング・パラグライダー場のPRと利用促進を図るため、みかも山ハング・パラグライダークラブと「パラグライダー地上体験イベント」を開催した。 公園内の巡回や施設の日常点検を行い、危険箇所や不具合箇所の早期発見、安全管理に取り組んだ。 枯松の多い三叢山の景観改善を図る為、地域住民とボランティア団体「みかも山の里山を守る会」を組織し、伐採処理や下草刈りに取り組んだ。
公園の特性を生かした管理運営に向けた取組 ※指定管理者が独自に設定
<ul style="list-style-type: none"> カタクリ・ニリンソウ・キツネノカミソリ・ヒガンバナなどの群生地は、みかも山公園の重要ポイントと捉え、年間計画を立て維持管理作業を実施した。 カタクリの園では繁殖するキツネノカミソリの球根を抜根し、カタクリ群生地の環境保全を行った。大田和群生地ではキツネノカミソリを保護し、カタクリとの共生エリアとして管理を実施した。 絶滅危惧種アオトンボの生息が確認され、生息域の保全に配慮した草刈りを行った。 山からの眺望箇所の改善を図る樹木の伐採、剪定を実施した。
今後改善・工夫したい事項
<ul style="list-style-type: none"> カタクリの園では、近年、キツネノカミソリが増え始め、カタクリの育成を阻害しているのでキツネノカミソリの抜根に取組む。ボランティアに協力を働きかけ、一緒にカタクリ群生の保全に努める。 松くい虫やクビアカツヤカミキリ等による枯損木が多いので、巡回監視を行い処理に取組む。伐採したエリアの森の再生に取り組む。 三叢庭園・万葉庭園は、散策利用の他、写真撮影としても利用されていることから、定期的に樹形を整える剪定や手入れを行い、庭園景観維持に努める。 作業事故防止のため、スタッフの安全教育を図ると共に、KY活動を実施し事故の防止に努める。 特定外来生物であるクビアカツヤカミキリが園内で確認されたため、マニュアルに従い巡回監視を強化し拡散防止に努める。 愛パーク活動を推進するため、参加者に対し香楽亭利用の割引を行い活動推進に努める。 ハーブ園の除草等ボランティアが、参加活動し易くなるよう環境づくりに努める。 コロナ禍でも多くの利用者がある公園の特性を生かしながら、安全安心して利用できる環境を引き続き提供して行きたい。

7 所管課による評価

項目	評価の内容	確認内容・所見等	評価
1. 住民の平等利用の確保	①住民の平等利用が確保されたか	適切に実施されている。	C
	②使用許可に関する権限が適正に行使されたか	所定の手続きに則り、適切な許可が行われている。	C
	③高齢者、障害者等に対する配慮はなされたか。	高齢者や身体障害者に対し配慮するなど事業計画書どおりされている。	C
2. 施設の効	①施設の設置目的に沿った業務実施がなされたか	事業計画に基づき、施設の設置目的に沿った業務が実施されている。	C

用の最大限 発揮	②施設の利用促進、県民サービスの向上が図られたか	コロナ禍により利用を制限された状況ではあったが、ハイキングマップの配布や遠足等の誘致などPRに取り組んだ。	B
	③利用者満足度を把握し、満足度の向上が図られたか	利用者の満足度は昨年度より上昇した。	B
	④利用者からの意見、苦情に対して適切な対応がなされたか	要望・苦情に対して、適切且つ迅速に取り組み対応している。	C
	⑤施設、設備、備品の維持管理や安全管理は適切になされたか	日常・定期点検を実施し、その記録が保管されているとともに、管理打合せ簿にて修繕の提案・修繕実施報告され、その修繕履歴が適切に保管されている。また、備品の管理は適切に実施されている。	C
	⑥指定管理者の創意工夫により業務改善等がなされたか	コロナ禍により開園25周年イベントである「山フェス」は実施できなかったが、地元ボランティアと協力して枯松を伐採し、景観の向上に努めた。	C
3. 管理を安定的に行う 物的人的基礎	①組織体制は適正か	当該業務を概ね適切に遂行できる組織となっている。	C
	②収支は適正でバランスがとれたものか	概ね適正である。	C
	③経費の縮減に取り組んできているか	事業計画書どおり多目的、多用途に従事するスタッフを配置し人件費を削減するとともに、保険契約等は一括契約を行い経費削減に取り組んでいる。	C
	④人材育成は適切に実施されているか	公園管理に必要な資格の取得や技術と能力を向上するため、事業計画書に基づいた研修を実施した。	C
	⑤危機管理体制（事故、緊急時の対応）は確保されているか	緊急時連絡体制により、関係部署との連絡体制は確保できている。また、事故・異常気象時の対応も適切に対応・報告がなされていた。	C
	⑥県や関係機関との連携ができているか	県や関係機関と連携し、管理運営を行っている。	C
4. 個人情報保護	①個人情報の保護についての措置が計画どおり実施されているか	個人情報の保護に関する要領を定め、適切に保護を行っている。	C
	②情報公開は適切になされているか	情報公開事務処理要領を定め、適切に運用している。	C
5. その他	①施設の特徴にふさわしい自己評価がなされているか	適切な自己評価が行われた。	C

②自主事業が計画どおりに実施されているか	コロナ禍により中止になったものも多くあるが、可能なものは感染症対策を行ったうえで適切に実施した。	C
③イベント等を実施している場合は、地域との連携が図られているか	多くのイベントが中止となったが、里山を守る会と枯松の除去等を行い地域と連携して里山再生を行った。	C
④環境への配慮（騒音・公害対策、ごみ削減等）がなされているか	公園利用者にごみの持ち帰りをお願いし、ごみの削減に努めている。	C
⑤その他管理運営上の特記事項（コロナ対策がなされているか等）	新型コロナウイルス感染症対策の徹底に努めた。各ポイントへの消毒液設置、フラワートレインへの間仕切り設置などを行った。	C
総合的な評価		
<p>全般的におおむね良好な管理運営状況である。インターチェンジが近いことから県外からの来園者が多く、コロナ禍にも関わらず昨年度よりも多くの方に公園を利用していただき、新型コロナウイルス感染症対策が徹底されていることや公園の魅力がきちんと伝わった結果だと考える。</p> <p>特に、ハイキングはコロナ禍でも比較的に安全に楽しむことができ、近年の健康意識の高まりの相まって今後も高い需要があると思われるので、引き続き公園利用者が安全かつ楽しめる公園づくりに努めていただきたい。</p>		

※「評価」欄には、以下の指標により判定した結果を記載すること。

- A：事業計画に対して極めて優れた取組となっている。
- B：事業計画に対して優れた取組となっている。
- C：事業計画どおりの取組となっている。
- D：事業計画に対して劣る取組となっている。
- E：事業計画に対して極めて劣る取組となっている。